

基本理念	基本目標	分野	福祉課題	福祉課題の実情	具体的な取り組み	校区社協としての取組
支えあう住みよい社会、地域から心豊かな菱形校区	地域で支え合い、健やかに暮らせるまち	高齢者	高齢者の孤立防止と社会参加	・閉じこもりがちな高齢者に対する対応が十分でない	・地域行事、ふれあい・いきいきサロンへの参加呼びかけ	・地域行事、ふれあい・いきいきサロンの情報周知
			高齢者の体力維持と健康管理	・校区内5ヶ所のふれあい・いきいきサロンのマンネリ化及び参加者減少	・魅力あるふれあい・いきいきサロンの体制と楽しいプログラム作り	・ふれあい・いきいきサロンの交流とサポーター養成
			認知症高齢者への理解	・認知症に対する理解不足	・地域で認知症及びその対応方法の勉強会	・認知症サポーター養成講座、認知症声かけ模擬訓練の実施
			運転免許証返納後の移動手段	・買い物、病院にはバス、ゴミ出しふれあい・いきいきサロンの参加には車がないと不便	・買い物支援、移動支援の情報収集	・地域支え合い型サービスの勉強会を開催
		障がい(児)者	障がい(児)者への正しい理解	・障がい(児)者の方との接点、交流が少ない	・地域における日頃からの声かけ	・福祉協力員の設置
			障がい(児)者への日頃の声かけ見守り	・声のかけ方や接し方、対応方法が分からない	・勉強会を開催し理解を深め意識向上を図る	・熊本市障がい者相談支援センターとの連携 障がい者サポーター養成講座の実施
				・障がい(児)者の孤立が心配	・障がい(児)者との交流を図る	・各種団体と連携したイベントの開催
	子どもが元気に伸び伸び育つまち	子ども、子育て	登下校時の児童の見守りと安全確認	・登下校時の見守りに対して町内ごとに差が生じている	・各町内における見守りの拡充	・登下校の見守り隊の参加呼びかけと活動推進
			いじめの早期発見と早期対応	・個人情報保護法が重視されて情報共有が難しい	・PTA、学校との連携を図る	・PTA、学校との意見交換を実施
			通学路の危険箇所	・通学路に危険箇所、人気のない所がある	・子ども避難の家、通学路の整備	・自治会、PTA等で通学路の点検整備
			子育て世帯の情報把握	・子育て世帯の情報把握が難しい(特に賃貸物件の場合)	・こんにちは赤ちゃん事業の情報を活用する  ・世代間で交流できる場所の確保	・社協だよりを発行し、各種団体の行事を周知  ・行政や各種団体連携し子育て世帯が利用しやすい公共施設(公民館、コミセン)の整備
	日頃の備えと地域との連携	災害、暮らし	避難所への避難経路の確認	・避難場所の把握、周知が十分でない	・自治協議会、民児協、消防団等校区内の各種団体と連携し地域の意識向上を図る	・校区防災連絡会と連携し避難場所、危険箇所の情報発信
			要援護者の避難支援と安否確認	・災害、防災に対する意識の希薄化	・防災訓練、避難訓練の計画	・自主防災クラブと連携し避難訓練を実施
				・危険箇所及び要援護者の把握、情報共有の仕組みづくりが十分でない	・危険箇所を実際に歩いてみて確認を行う	・災害時要援護者避難支援制度における登録情報の更新
			地域役員の担い手不足	・高齢化進み、役員のなり手不足で負担が増えている	・校区内団体の活動を周知する	・町内ごとのハザードマップの作成  ・社協だよりを活用し各種団体の活動を広報、啓発併せて校区内の組織や行事のPRを図る
校区内団体の連携		・各種団体役員の発掘、育成が難しい	・地域役員の負担軽減を図る			
		・地域役員が輪番制である	・退職者の把握と地域活動への参加を促す			
		・町内行事の開催及び継続など地域に差が生じている				